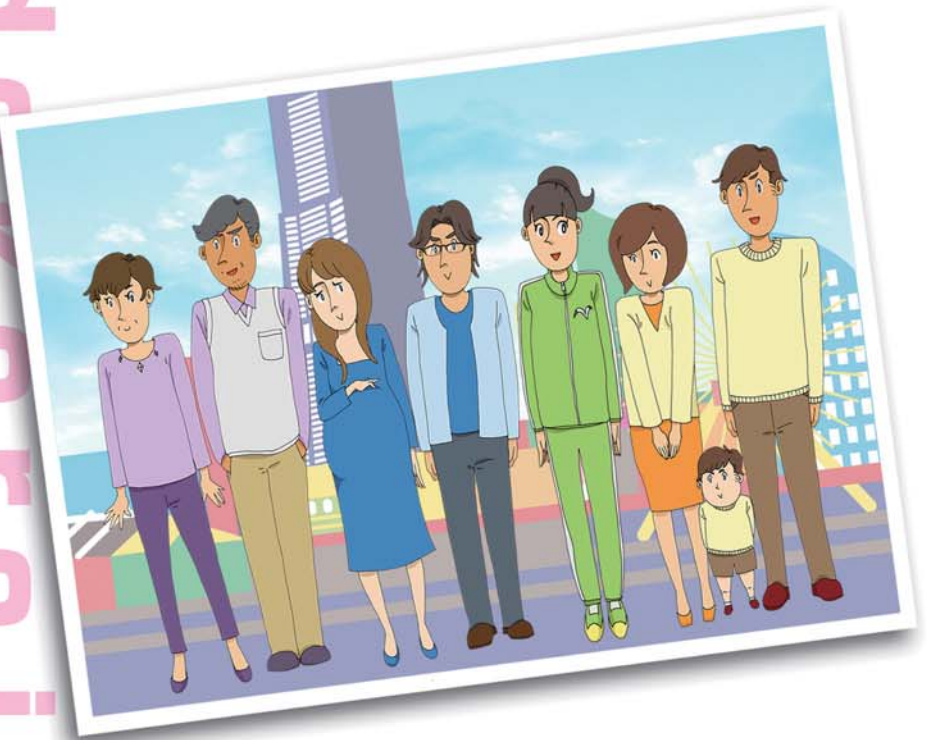


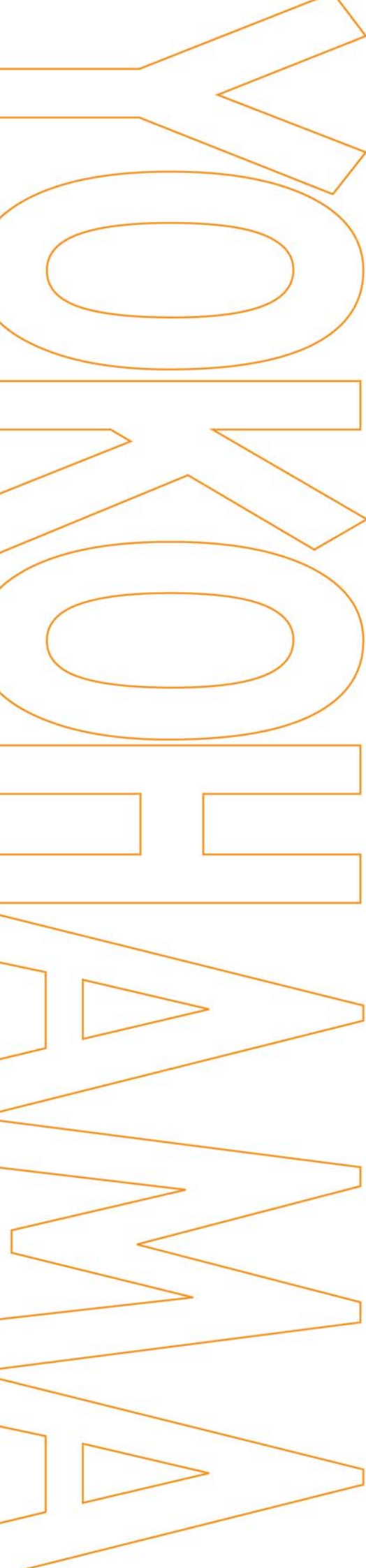
ハマの 台所事情

横浜の家計簿

横浜は現場主義！生活主義！元気主義！
～安心と活力をともに生み出す～



hamano-daijokorojiyo





① 保育所の運営にたくさんお金がかかるってホント？



教えて！ 森さん



目次

- 1 保育所の運営にたくさんお金がかかるってホント？
- 2 横浜市の予算を家計簿にしてみると…
- 3 横浜市はどんな事業に力を入れていくの？

横浜市にある認可保育所の数

437 か所

(H22.4.1現在)
入所児童数約 39,000 人

保育所でこども 1 人を 1 年間
預かるのにかかる費用

約 170 万円

保育所の運営に関わる職員人件費を含む

約 30 万円

こどもを預ける保護者が
支払っている保育料

約 40 万円

国から出るお金

約 100 万円

市民の税金で横浜市が
負担している金額



なるほど！

横浜市●●区▲▲町



横浜市●●区▲▲町のみなさん

- 【森家】 ものしり森さん
- 【橘家】 30 歳代の夫婦、3 歳の息子の 3 人暮らし
- 【椿家】 50 歳代の夫婦の 2 人暮らし
(21 歳の娘、19 歳の息子は地方の大学に進学)
- 【柳家】 30 歳代の夫婦、夫の 70 歳代の両親の 4 人暮らし



ものしり森さん

橘家

椿家

柳家

横浜市は最優先の課題として、子育て支援の充実に向けて取り組みます！

お金がたくさんかかっているのは、わかったわ。でも保育所とか子育てが安心してできる環境は必要よね。



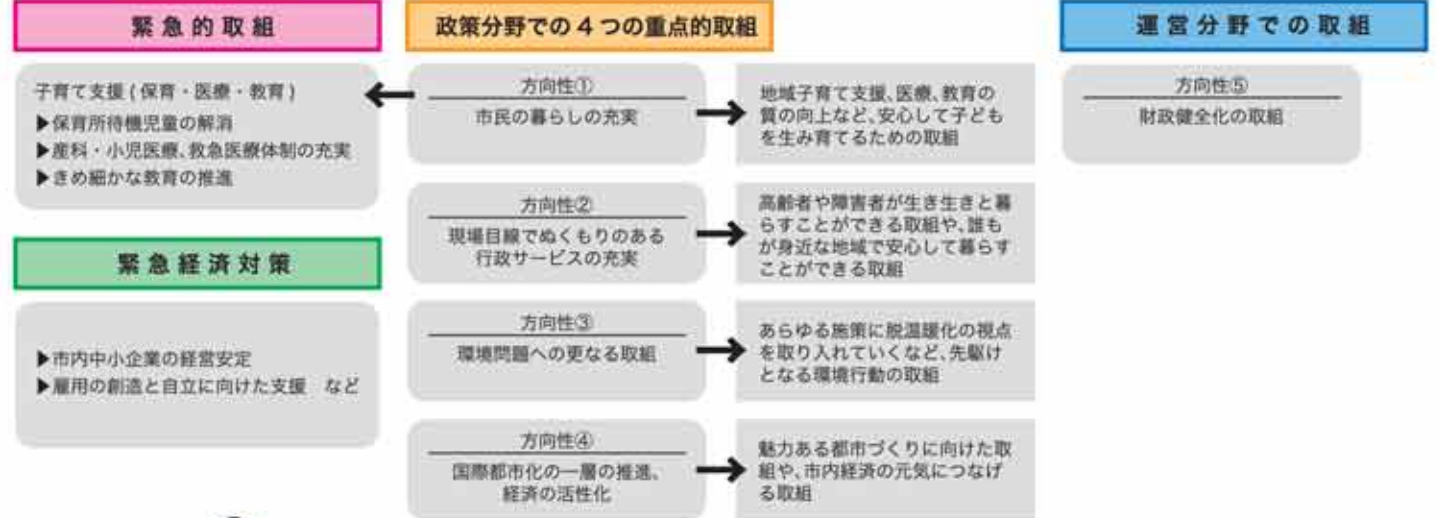
③ 横浜市はどんな事業に力を入れていくの？



② 横浜市の予算を家計簿にしてみると…



22年度における施策事業の展開



22年度予算では、厳しい状況にあっても、市民の暮らしの充実のため、**緊急的に取り組む必要のある『子育て支援』**を最優先で行います。また、**政策分野での4つの重点的取組**、**運営分野で財政健全化の取組**をすすめます。さらに『**緊急経済対策**』も充実を図ります。

- 横浜市の予算額を20万分の1にした年間の家計簿をつくってみました。
- 収入(歳入)は、景気悪化の影響で基本給(市税)やパート収入(諸収入等)が下がりました。
- 今の生活を最低限維持するのに必要な日用品費や家賃など(行政運営費)を確保するために、銀行からの借入(市債)を少しだけ増やしました。
- 支出(歳出)は、食費(人件費)を切りつめたものの、医療費など(扶助費)が大幅に増えました。
- ローン返済(公債費)は削ることができないので、光熱水費や家具の買い替えなど(行政運営費・施設等整備費)を節約しました。



(単位:万円)

収入	22年度①	21年度②	増減①-②	支出	22年度①	21年度②	増減①-②
給与	514	501	13	食費(人件費)	101	105	△4
基本給(市税)	343	363	△20	医療費・保育料など(扶助費)	174	136	38
諸手当(地方課外税、前払交付金、地方交付税、国・県支出金など)	171	138	33	ローン返済(公債費)	94	94	0
パート収入・貯金の取崩しなど(使用料・手数料、諸収入、繰入金など)	102	128	△26	光熱水費・日用品費・家賃・教育費など(行政運営費)	136	152	△16
銀行からの借入(市債)	64	57	7	車の購入・家具や電化製品の買い替えなど(施設等整備費)	83	102	△19
合計	680	686	△6	子どもへの仕送り(繰出金)	92	97	△5
				合計	680	686	△6

